

キラリ  
地元企業

モップ・マット製造の日之出(松本百合子社長)は、創業八十年以上の歴史を持つ「伝統ある会社だが、常に新技術への挑戦を繰り返して、事業領域を拡大している。創業者の松本繁次郎氏がアメリカ・イギリスでの滞在経験から、モップの需要に着目し、一九二〇年に創業した。戦後のマット、モップのレンタル業の成長と共に規模を拡大し、四八年に法人化、近年はエコ・リサイクル製品の開発に力を入れている。



松本百合子社長

同社が開発した「エンドレス糸」は、糸の先端に力を使用して済み作業服や手袋を脱ぎ替えるため、自然な再生した「反毛」を採用し、繊維工場から出る「落毛」を拾って、洗濯時の「糸やせ」を省くことで、70%以上がエコ素材を削減するとともに、強度を上げるための縫製糸による熟加工を必要とせず、型また、〇四年春にはレン

エンドレス糸で生産される同社のモップやマット



では、製品重量の60%以上は、再生した「反毛」を採用し、繊維工場から出る「落毛」を拾って、洗濯時の「糸やせ」を省くことで、70%以上がエコ素材を削減するとともに、強度を上げるための縫製糸による熟加工を必要とせず、型また、〇四年春にはレン

多角化の一貫として、環境技術を活かした、業務用グリスフィルター、の生車や、レンタル品を扱う店舗など向けに「環境配慮型」の取り扱いは、すべて

## 時代ニーズも反映

エコ防犯

は、唐辛子を主成分としており、人体に被害なから、万が一誤射した場合でも、安心して使ってもらえるよう、独自の保険制度の導入を検討している。

〇一年に先代の松本哲男社長が他界し、急きよ跡を継ぐことになった五代目の松本社長だが、さらなる新製品開発に意欲を燃やし、情報とビジネスパートナーを求めて国内外を飛び回る。「顧客のニーズに応えられ

## 新技術挑戦で事業領域拡大

境にも優しい。

エンドレス糸で作る「生ベットのモップ」「ひまわり」

タル用マット「ECOヒュール」を開発。表面には再初のエコマークを取得して、

そんな一例として、同社が取り扱う環境配慮型マット

(巻欄)

は様々なでも、信頼できる人とのつながりが最も重要。